

《平成30年度 自己評価表を公表します》

ほっとハウス児童発達支援では、提供するサービスの質について、職員が評価・点検を行いました。

自己評価の結果を踏まえ、支援内容の改善を図るべく自己評価の内容を公表いたします。

①活動プログラムについては、個別支援計画に基づき、体調に配慮しながら様々な経験ができるように支援していきます。

②家庭や関係機関と情報交換を図り、共有しながら支援に努めていきます。

③各種研修に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めます。

利用される皆様に安心して楽しく過ごしていただけるように、上記の事項を中心に取り組み、支援の質の向上に努めていきます。

☆平成30年度 児童発達支援自己評価表《事業者等向け》

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	現在、児童発達支援を利用している方はいませんが、利用があった場合は、活動内容や子どもの状況に合わせて、園内の空間を利用するなどの工夫をします。
	②	職員の配置数は適切であるか	適切に配置されています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	障害特性に応じ、バリアフリー化に配慮されています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	衛生面に気を付け、清潔で心地よく過ごすことができるように努めています。
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	マニュアルを整備し、月1回の会議等を通して業務の見直し、改善に努めています。
	⑥	保護者向けの評価票を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	今年度、利用している方がいないため、保護者向けのアンケート調査は実施していませんが、実施した場合は、評価票の結果を参考にして業務の改善に努めていきます。

業務改善	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	今回の事業所の自己評価結果について、ホームページで公表します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価は実施していませんが、秋田県による実地指導、法人が行う内部監査等を通じて業務改善に繋げています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	園内外の研修に参加し、職員の資質の向上に努めています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	アセスメント、モニタリングや検討会議を通して、サービス計画の作成を行う体制を整えています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	統一されたアセスメント票を活用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	園のマニュアルに沿って、本人の状況を把握し、家族の要望等を取り入れ検討しながら、支援に必要な支援内容の設定に努めます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	児童発達支援計画に基づいた支援に努めます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	活動内容の立案については、職員間で話し合いながら行います。
	⑮	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	週替わりの活動を基本としながら、その日の子どもの状態に応じた活動を提供します。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	子どもの状況を考慮しながら、個別活動と集団活動を組み合わせで行います。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	当日の利用状況、活動内容、家族への連絡事項等、適宜に打ち合わせを行います。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後には子どもの活動状況等について再確認し、気付いた点等について情報交換し共有に努めます。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	個別支援計画の内容に沿った活動を支援し記録をとり支援の検証・改善に繋げていきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	マニュアルに沿って見直しを行います。
		㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか

関係機関や保護者との連携	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	関係機関と連携した支援に努めます。
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	現在、医療ケアの必要な子どもの利用はありませんが、利用時は医療機関等と連携した支援に努めます。
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	現在、医療ケアの必要な子どもの利用はありませんが、利用時は主治医や医療機関との連絡体制を整えて支援に努めます。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	相談支援専門員を通して情報の共有や相互理解に努めていきます。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	対象者はいませんが、相談支援専門員を通して情報の共有や相互理解に努めていきます。
	②⑦	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	理学療法を年に6回実施し、利用時に実施した場合は、療法士より助言を受けることが可能です。音楽療法は毎月1回実施しています。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	地域の障がいのない子どもと活動する機会には設けていません。
	②⑨	(地域自立支援)協議会等への積極的に参加しているか	相談支援専門員が参加しています。
	②⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	利用する際は本人の状況について家庭より情報を得て、帰宅時には利用状況について随時報告し、連絡帳も活用しながら、家庭との情報交換を図れるような体制を整えています。
	②⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレント・トレーニングは行っていませんが、保護者との情報交換は日常的に行い、保護者の話を傾聴し、必要に応じて助言を行うようにしています。
保護者への説明責任等	③②	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	重要事項説明書等を通して丁寧な説明に努めます。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	児童発達支援計画について説明を行い保護者から同意を得た上で支援を行うよう体制が整えられています。
	③④	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者からの悩み等に対しての相談については、必要に応じて助言し、支援に努めます。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会の活動支援等は行っていません。
	③⑥	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情相談のしくみは整備しており、今までに苦情等はありません。

保護者への説明責任等	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	ほっとハウスのお便りを発行しています。
	③8	個人情報に十分注意しているか	十分配慮して対応します。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	家族と情報交換を図りながら、子どもの思いをくみ取れるよう配慮します。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	園として行っています。
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	保護者への説明は行っていませんが、職員には整備したマニュアルの周知に努めています。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	園で毎月避難訓練を実施しています。利用時に実施した場合は体調等を考慮しながら参加を促します。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	事前に服薬やてんかん発作等の健康面について家族に確認し支援します。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	現在、対象者はいませんが、配慮して対応することは可能です。
非常時等の対応	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリ・ハットについては、所定の様式により、情報の共有が図られています。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	全職員が虐待防止研修に参加しています。虐待防止チェックリストの実施や読み合わせ等を通して虐待防止に努めています。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	現在、対象者はいませんが、身体拘束についてはマニュアルに沿って対応する体制が整えられています。